

かづの高校生広報室

角ぐる「鹿角」ブランドアップ通信⑧

政策企画課 総合戦略室 30-0201

高校生広報室員が活動にかける想い

高校生ならではの視点で市の魅力を見つけ、情報発信することで、市の認知度や若い世代のふるさとへの愛着を高めてもらうため、昨年度から「かづの高校生広報室」を設置しています。

昨年は、フェイスブックへの投稿やFMラジオへの出演、市広報紙への記事掲載のほか、本市を訪れた大学生との交流に加え、市内でロケが行われた映画の取材などさまざまな場面で活躍しました。

今年度は、昨年度からの継続となる4人に新たにメンバー3人が参加し、7人で活動しています。



高校生から見える鹿角の魅力はどのようなものか。これから活動に期待してください。

農業のすばらしさを。

鹿角の農業をPRしたいです。鹿角産の作物は農薬などを通常よりも抑えて作った、人にも自然にも優しいということをもっと多くの人に知つてもらいたいです。

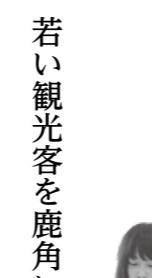
【たばた】



鹿角の自然・人・食を。

去年に引き続き活動しますが、今年は去年の経験を生かしながら、鹿角の自然の豊富さや人のつながりの深さ、鹿角の食べ物のおいしさを伝えたいと思います。

【まい】



若い観光客を鹿角に。

以前やっていたボランティアガイドで鹿角は素晴らしいところだと言つてもらひ、自分も改めて実感しました。そななすばらしい鹿角の魅力を積極的にPRして、若い観光客をもっと呼びめるようにしたいと思います。

【リュウリック】



鹿角に移住する人が増えているので、「移住したい」「住み続けたい」と思えるような鹿角の魅力を発信していくいたいと思います。

【姓】かね

輝く鹿角を伝えたい。



住み続けたいまちに。

平成30年度かづの高校生広報室員が隠れた小さな良さを。

市民憲章に「緑と水の映えるまち」とあるように美しい自然のほか、伝統行事や歴史などの隠れている小さな良さも発見し、多くの人に情報を発信していきたいです。

【さとま】

地元の人の温かさを。

高校生広報室員になった7人には鹿角のどういうところをPRしていただきたいか、意気込みを語ってもらいました。

【さとま】

輝く鹿角を伝えたい。



「鹿角」を伝えたい。



かづの高校生広報室 Facebook : <https://www.facebook.com/kazunokoukousei>

鹿角家～かづのけ～

鹿角版 関係人口を増やす取り組み

家族のように。

皆さんには「関係人口」という言葉をご存知ですか。移住した「定住人口」でもなく、観光に訪れた「交流のキーワード「関係人口」を探りま

●地域への多様な関わり方

移住・定住の取り組みを通じて見えてきたものは、移住・定住はハードが高いけれど、観光だけでは物足りず、もっと気軽に地域と関わり、つながりたいという想いを持った人たちの存在です。

・都会で地域の特産品を買っている

・ふるさと納税をしている

・地域の情報を発信している

・地域に地域へ訪れている

・このようにさまざまなかたちを「関係人口」と呼びます。

多種多様な関わり方がある中で、地域に愛着があり、継続的につながる

「鹿角家」キックオフイベント

関係人口を学ぶ

◆日時 7月29日(日) 13時～15時

◆場所 道の駅おおゆ イベント広場

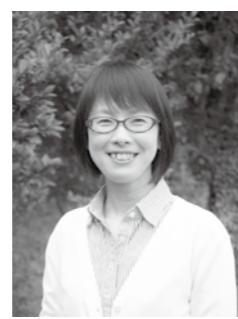
(雨天時は大湯温泉保養センター湯都里研修室)

※入場は無料です。

第一部 講話 「関係人口という提案」
講師 田中 輝美氏 (ローカル・ジャーナリスト)

第二部 パネルディスカッション
「鹿角版関係人口」
パネリスト
田中 輝美氏
かづのclassyメンバーほか

コーディネーター
木村 芳兼氏
(かづのclassy理事長)



つながる。

高校生ならではの視点で市の魅力を見つけ、情報発信することで、市の認知度や若い世代のふるさとへの愛着を高めてもらうため、昨年度から「かづの高校生広報室」を設置しています。

【問】政策企画課 鹿角ライフ促進班 30-0208

【問】政策企画課 鹿角ライフ促進班 30-0208